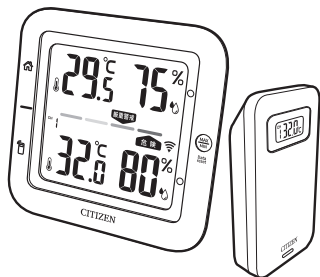


取扱説明書

シチズンコードレス温湿度計
(マルチチャンネル対応)

THM527

- ご使用前に本書を必ずお読みください。
- 本書は保証書を兼ねています。紛失しないよう大切に保管してください。
- ご使用中は必ず本書をお手元に置いてください。



シチズン・システムズ株式会社

2101

目次

ご使用のまえに

安全上のお願い.....	1
付属品を確認しましょう.....	3
各部のなまえと機能.....	4
電池を入れましょう.....	7
電池交換のしかた(本体) ...	12
電池交換のしかた (子機センサー)	13
別売品の増設について.....	14

測定しましょう

設置しましょう.....	18
使ってみましょう.....	21
最高温度/最低温度を 確認しましょう.....	23
熱中症指標表示と アラートランプについて ...	24
子機センサーと同期できない ときは.....	27
保管とお手入れのしかた.....	30

お知らせ

熱中症と予防について.....	31
温度と湿度の管理について ...	33
温度・湿度の異常表示に ついて	35
故障かな?と思ったら.....	36
製品仕様.....	37
保証規定・保証書.....	裏表紙

安全上のお願い

ご使用の前に、この「安全上のお願い」をよくお読みください。



警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合



注意

人が傷害を負ったり、物的損害*の発生する可能性が想定される場合

*物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。



禁止

してはいけない「禁止」内容です。



強制

必ず実行していただく「強制」内容です。



警告



ペースメーカーなど植込み型医療機器の装着部位近くでは使用しないでください。

禁止

→子機センサーは微弱ですが電波を使用しているためペースメーカーなどに影響を及ぼすおそれがあります。



本体と子機センサーを分解・修理・改造をしないでください。

禁止

→事故やけがなどのおそれや、本体が故障する原因になります。




電池の液が目に入ったり、皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。

強制

注意

 本体と子機センサーは、火気、熱気の近くで使用しないでください。

禁止 → 本体が熱くなり、やけどをする場合があります。

 本体と子機センサーのすき間や穴、および金具などに指を入れないでください。

禁止 → 事故やけがの原因になります。


 古い電池と新しい電池を同時に使用しないでください。指定の電池以外は使用しないでください。

禁止 電池の⊕⊖の向きを間違えないようにしてください。
→ 漏液、発熱、破裂などをおこし、本体が破損する原因になります。

 充電式電池を使用しないでください。

→ 正確に測定できない場合があります。

禁止

 携帯電話やマイクロ波治療器などの近くで使用しないでください。

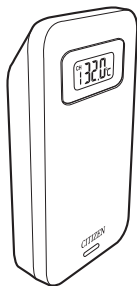
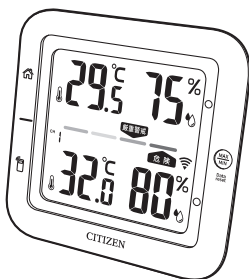
禁止 → 誤動作して正確に測定できない場合があります。

付属品を確認しましょう

以下のものがそろっているかご確認ください。

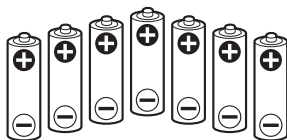
●本体（親機） 1台

●子機センサー 1台



●単3形アルカリ乾電池
7本（モニター用）

●取扱説明書（保証書付）



別売品

別売品を増設することで、子機センサーの設置場所を増やしたり、本体（親機）の設置場所を増やしたりすることができます。

●本体型番：MU-THM527 ●子機センサー型番：TR-THM527

※ 1台の本体から温度、湿度を確認できる子機センサーは2台までです。

※ 1台の子機センサーの温度、湿度を確認できる本体の台数には制限がありません。

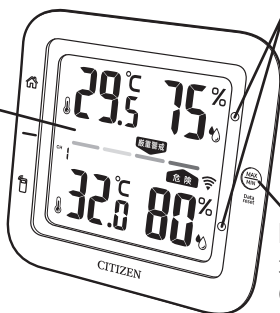
各部のなまえと機能

本体

■表面

表示部

透明シールをはがしてお使いください。



アラートランプ

熱中症指標が「危険」のときに、赤く点灯します。
(24 ページ)

MAX/MINボタン

最高温度／最低温度の表示ができます。
(23 ページ)

■裏面

リンクボタン

子機センサーと同期するときに押します。

(13、14、27、28ページ)

リセットボタン

(29 ページ)

壁掛け用穴

(18 ページ)

電池カバー

(7 ページ)

スタンド用スティック

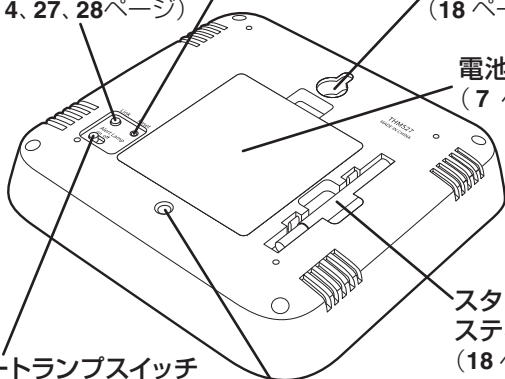
(18 ページ)

アラートランプスイッチ

アラートランプ点灯のon/offの切り替えができます。
(24 ページ)

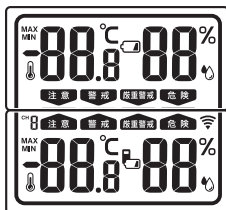
スタンド用スティック挿入穴

(18ページ)



各部のなまえと機能

表示部

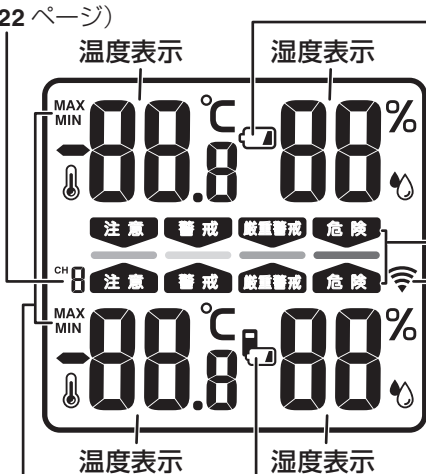


本体の測定値

子機センサーの測定値

チャンネル表示 (22 ページ)

ご使用のまえに



電池マーク
本体の電池が消耗したときに表示されます。
(12 ページ)

熱中症指標 (WBGT) 表示
(24 ページ)

最高温度／最低温度表示
(23 ページ)

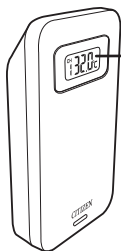
電池マーク
子機センサーの電池が消耗したときに表示されます。
(13 ページ)

アンテナマーク
子機センサーからの電波の強さが表示されます。良好(☑️)、弱(☒)表示されていないときは、子機センサーからの電波を受信していません。
(19 ページ)

各部のなまえと機能

子機センサー

■表面



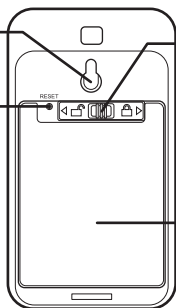
表示部

透明シールをはがしてお使いください。

■裏面

壁掛け用穴
(19 ページ)

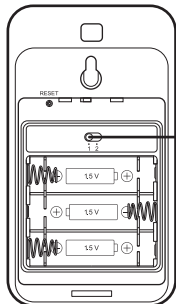
リセットボタン
子機センサーを
リセットする
ときに押します。
(27 ページ)



スライドロック

電池カバーを開けたり、
閉めてロックするときに
スライドさせます。
(9 ページ)

電池カバー
(9 ページ)



(電池カバー内)

チャンネルスイッチ

子機センサーのチャン
ネルを切り替えます。
(9、15、17ページ)

電池を入れましょう

- 付属の電池はモニター用ですので、所定の電池寿命を満たさない場合があります。
- 単3形アルカリ乾電池以外は使用しないでください。
- 充電式の電池は使用しないでください。
- 長期間使用しない場合は、電池を外してください。電池からの液漏れにより、故障することがあります。
- 使用済みの電池は、お住まいの自治体のルールに基づいて正しく処分してください。

本体と子機センサーに電池を入れます。

必ず本体、子機センサーの順で電池を入れてください。

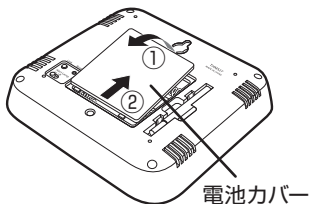
※逆の順に電池を入れるとリンクができません。

- 本体、子機センサーに電池を入れると本体の表示部に子機センサーの測定値が表示されるまで、本体と子機センサーの同期が行われます。本体表示部にアンテナマーク(📶)と子機センサーの測定値が表示されるまでは、ボタン操作を行わないでください。

1 本体に電池を入れましょう

1 本体の電池カバーをはずす

- ① 電池カバーを矢印側に引っ張ります。
- ② 電池カバーをはずします。

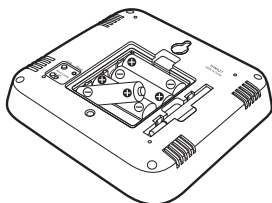


電池を入れましょう

2 本体に電池を入れる

⊕⊖の向きに注意して入れてください。

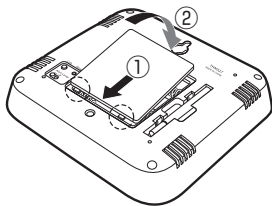
※必ずバネの出ている⊖側から入れてください。



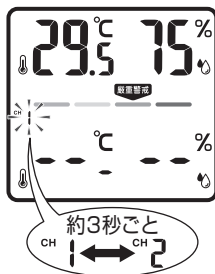
3 本体の電池カバーを閉じる

①電池カバーのツメをくぼみに合わせます。

②「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



- 本体に電池を入れると、表示部が全点灯で表示された後、本体の温度と湿度が表示され、チャンネル表示が右のように点滅し、子機センサーから送られてくる電波の待機状態になります。



ご使用のまえに


電池を入れましょう

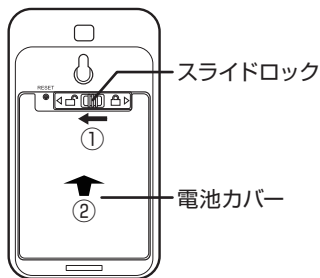
2 子機センサーに電池を入れましょう

本体に電池を入れた後、5分以内に子機センサーに電池を入れます。電池を子機センサーに入れると本体へ送信を始めます。

※本体表示部にアンテナマーク（)と子機センサーの測定値が表示されるまでは、本体のボタン操作を行わないでください。

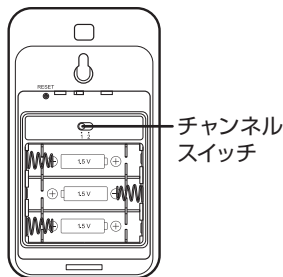
1 子機センサーの電池カバーをはずす

- ①子機センサーのスライドロックを◀側にスライドさせます。
- ②電池カバーをはずします。



2 子機センサーのチャンネル設定をする

チャンネルスイッチを「1」の位置に設定してください。

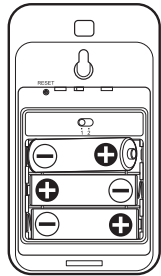


電池を入れましょう


3 子機センサーに電池を入れる

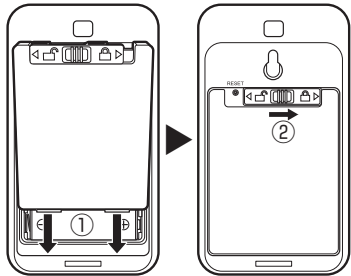
⊕⊖の向きに注意して入れてください。

※必ずバネの出ている⊖側から入れてください。



4 子機センサーの電池カバーを閉じる

- ① 電池カバーのツメをくぼみに合わせて閉じます。
- ② 子機センサーのスライドロックを  側にスライドさせて、電池カバーをロックします。

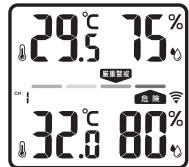


ご使用のまえに

- 子機センサーに電池を入れると、子機センサー表示部に温度と湿度が約4秒ごとに交互に表示されます。



- 子機センサーに電池を入れると、送信が開始され、本体と子機センサーの同期が行われます。約10秒で同期が完了し、本体表示部にアンテナマーク (📶) と子機センサーの測定値が表示されます。




最大5分間、本体表示部のCH1 ↔ CH2が切り替わった後、子機センサーが1台のみ接続されている場合は片方のチャンネルの表示に固定されます。

電池を入れましょう


- 以下のような現象のときは「子機センサーと同期できないときは」(27～29 ページ)を参照してください。
 - 初めて使用するとき正しく同期しないとき
 - 15 秒以上経過しても、本体表示部にアンテナマーク(📶)と子機センサーの測定値が表示されないとき
 - 本体表示部の子機センサーの測定値に「 $\{r^{\circ}\}$ 」と表示されるとき
 - 本体に電池を入れた後、子機センサーへ電池を入れずに5分経過し、正しく同期できなかったとき
- 上記でも解決できない場合や、本体や子機センサーに何も表示されない場合は、本体と子機センサーの電池を取り出し、再度「電池を入れましょう」(7 ページ)の **1** からの手順で電池を入れ直してみるか、すべて新しい電池と交換してください。

電池交換のしかた（本体）

■こんなときは本体の電池を交換しましょう


- 本体表示部にマークが点滅表示されたとき → 4本同時に交換しましょう
- 本体表示部に何も表示されなくなったとき

1 本体の電池を新しい電池と4本同時に交換する
本体の電池を交換すると、本体と子機センサーは自動的に再同期されます。

- 最大1分程度で再同期が完了し、本体表示部にアンテナマーク（)と子機センサーの測定値が表示されます。
- ※約5分経過しても本体表示部に子機センサーの測定値が表示されない場合は、本体のリセットボタンを押してから、子機センサーのリセットボタンを押してください。

電池交換のしかた(子機センサー)

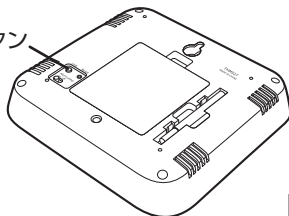
■こんなときは子機センサーの電池を交換しましょう

- 本体表示部に  マークが点滅表示されたとき → 3本同時に交換し
- 子機センサー表示部に何も表示されなくなったとき ましょう

1 子機センサーの電池を新しい電池と3本同時に交換する

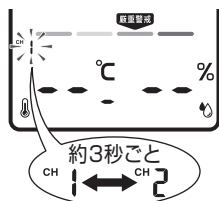
2 5分以内に、本体のリンクボタンを3秒以上押す

リンクボタン



本体表示部のチャンネル表示が点滅します。

- 送信が開始されます。約10秒で再同期が完了し、本体表示部にアンテナマーク (📶) と子機センサーの測定値が表示されます。
- ※ 15秒程度経過しても本体表示部に子機センサーの測定値が表示されない場合は、子機センサーのリセットボタンを押してください。
- ※ 新しい電池に交換して同期が正しく行われなときは「子機センサーと同期できないときは」(27ページ)を参照してください。



別売品の増設について

子機センサーを増設しましょう

子機センサーを増設することで、測定場所を増やすことができます。例えば、本体をリビングルームに、子機センサーをベランダとお子様部屋の部屋などに置くことで、リビングルームに居ながら3か所の温湿度を確認できます。

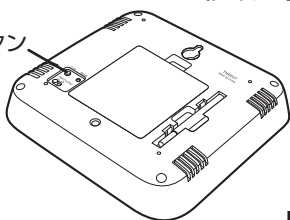
※子機センサーを増設する場合は、別売品の子機センサー（型番：TR-THM527）をお求めください。

- 1台の本体から温度、湿度を確認できる子機センサーは2台までです。

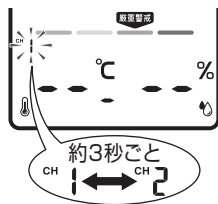
ご使用のまえに

1 本体のリンクボタンを3秒以上押す

リンクボタン



本体表示部のチャンネル表示が点滅します。

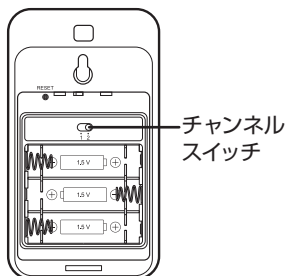


別売品の増設について

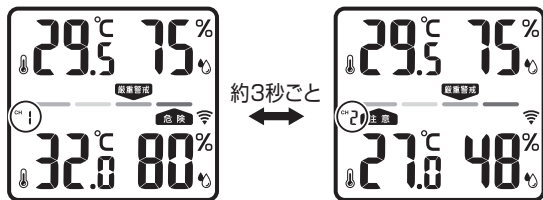
- 2** 5分以内に、増設する子機センサーのチャンネル設定を「2」にしてから電池を入れて、カバーを閉じる

「2 子機センサーに電池を入れましょう」(9ページ)の手順 **1** からと同様に電池を入れてください。

※必ず手順 **2** でチャンネルスイッチを「2」(1台目とは異なるチャンネル)の位置に設定してください。



- 送信が開始され、本体と子機センサーの同期が行われます。約10秒で増設した子機センサーの同期が完了し、本体表示部にアンテナマーク(📶)が表示されます。その後、約1分以内に子機センサー2台の測定値が約3秒ごとに交互に表示されます。



- 一度同期が完了すると、本体はチャンネルごとに子機センサーとの接続を記憶し、そのチャンネルでは他の子機センサーとは接続しません。チャンネルを変更したり、別の子機センサーと同期させる場合は、本体をリセットして、あらためて同期してください。(29ページ)

別売品の増設について

本体（親機）を増設しましょう

本体（親機）を増設することで、測定値を確認する場所を増やすことができます。

例えば、本体をリビングルームと寝室に、子機センサーをベランダに置くことで、ベランダの温湿度をリビングルームと寝室でそれぞれ確認できます。

※本体を増設する場合は、別売品の本体（型番：MU-THM527）をお求めください。

- 1台の本体から温度、湿度を確認できる子機センサーは2台までです。1台の子機センサーの温度、湿度を確認できる本体の台数には制限がありません。
- 本体同士は同期できません。

以下の1～3の操作を、5分以内に行ってください。

1. 増設する本体に電池を入れる
2. 既にお持ちの本体に電池を入れる
3. 既にお持ちの子機センサーに電池を入れる

※本体、子機センサーにすでに電池が入っている場合は、それぞれのリセットボタンを押しても同じことができます。

別売品の増設について

このような使い方もできます

■本体 A と子機センサー a,b を同期させ、本体 B と子機センサー b,c を同期させる



以下の 1 ~ 5 の操作を、5 分以内に行ってください。

1. 本体Aに電池を入れる
2. 子機センサーaのチャンネルスイッチを「1」にして、電池を入れる
本体Aと子機センサーaが同期し、本体Aは子機センサーa以外のチャンネル1の信号は受信しなくなります
3. 本体Bに電池を入れる
4. 子機センサーcのチャンネルスイッチを「1」にして、電池を入れる
本体Bと子機センサーcが同期します
5. 子機センサーbのチャンネルスイッチを「2」にして、電池を入れる
本体Aと子機センサーb、本体Bと子機センサーbが同期します

※本体、子機センサーにすでに電池が入っている場合は、それぞれのリセットボタンを押しても同じことができます。

※上記 1 ~ 5 の操作どおりにすれば子機センサー a と子機センサー c は混線しません。(一度同期が完了すると、本体はチャンネルごとに子機センサーとの接続を記憶し、そのチャンネルでは他の子機センサーとは接続しません。)

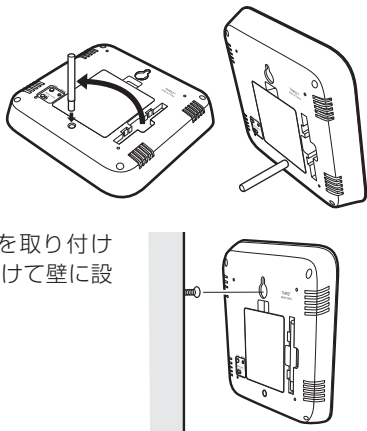
※上記は初回同期の場合の操作手順です。

設置しましょう

- 本体および子機センサーは急激な温度変化があった場合、周囲環境になじんだ後（約75分後）、正確な値が表示されます。
- 本体および子機センサーの設置する高さや場所により、温度、湿度は変化します。
- 本体および子機センサーの設置場所の温度が -10.0°C 以下または 50.0°C 以上では表示が見えにくくなることがあります。
- 本体および子機センサーは電気的なノイズを発生するところに設置しないでください。

1 本体を設置しましょう

- 直射日光の当たらない場所、エアコンや加湿器などの送風が本体に直接当たらない場所に設置してください。
- 本体は屋内での使用を想定しており、防水構造、防滴構造ではありません。
- 本体裏面にスタンド用スティックが付属しています。スタンド用スティックを本体裏面のスタンド用スティック挿入穴に差し込むと、本体を立てて設置できます。
- 壁にネジ（市販品）などを取り付けて、壁掛け用穴をネジに掛けて壁に設置できます。



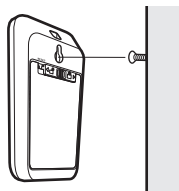
測定しましょう

設置しましょう

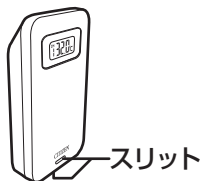
2 子機センサーを設置しましょう

子機センサーは離れた場所の温度、湿度を測定して、本体に測定値を送信します。

- 子機センサーから本体に測定値を送信できる距離は見通しの良いところで約50mです。本体と子機センサーの間に、障害物がある場合、電波の伝達距離が短くなります。
- 子機センサーと本体の間に厚い壁など電波を遮るものがあると測定値が送信できない場合があります。
- 子機センサーは防滴構造 (IPX3) ですが、温湿度測定のためのスリットがあり防水構造ではありません。
- 子機センサーの設置場所は以下をご参考ください。
 - ・ 直射日光の当たらない風通しの良いところ
 - ・ エアコン室外機、換気扇などの送風の影響を受けないところ
 - ・ 雨や雪が直接かかったり、跳ね返りがあたらない、ひさしなどがあるところ
 - ・ 結露による水滴がつかないところ
- 壁にネジ (市販品) などを取り付けて、壁掛け用穴をネジに掛けて設置できます。
- 設置後は本体表示部のアンテナマーク(📶)で、電波を良好に受信していることを確認してください。良好に受信していないときは、間に電波を遮るものがないか確認して設置場所を変えてください。



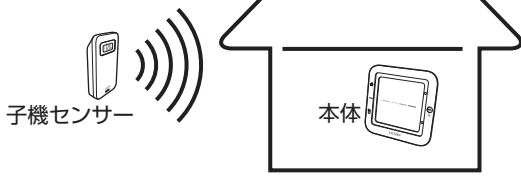
※子機センサーの正面下部・底面のスリットをふさがないように設置してください。スリットをふさぐと正確な温度、湿度が測定できません。



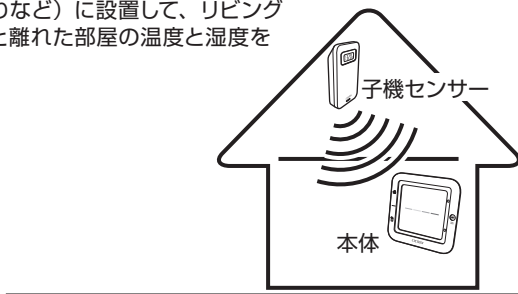
設置しましょう

設置例

子機センサーを屋外に設置して、リビングルームと屋外の温度と湿度を測定



子機センサーを2階の部屋（お子様、お年寄りなど）に設置して、リビングルームと離れた部屋の温度と湿度を測定



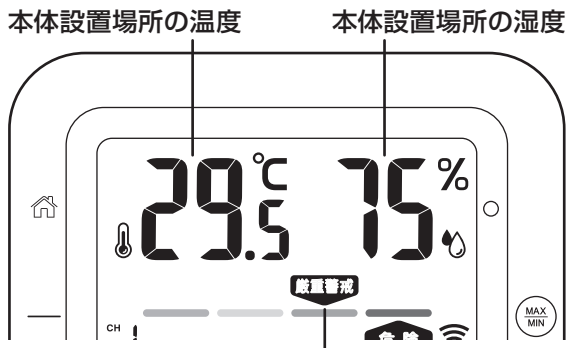
測定しましょう

- 冬は、トイレや洗面所、脱衣所など温度が著しくリビングルームと変化する場所に子機センサーを設置するのも効果的です。

使ってみましょう

本体の測定値

本体表示部の上側に、本体設置場所の温度、湿度と熱中症指標が表示されます。



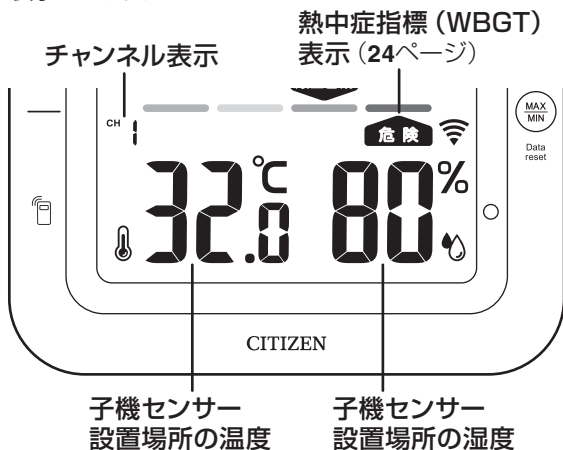
熱中症指標
(WBGT) 表示
(24ページ)

測定しましょう

使ってみましょう

子機センサーの測定値

本体表示部の下側に、子機センサー設置場所の温度、湿度と熱中症指標が表示されます。



※子機センサーを増設した場合は、子機センサー2台の測定値が約3秒ごとに交互に表示されます。



子機センサー表示部に、子機センサー設置場所の温度、湿度が約4秒ごとに交互に表示されます。

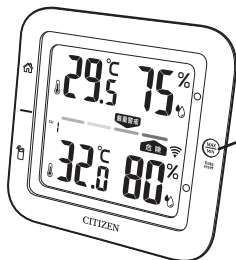


測定しましょう

最高温度／最低温度を確認しましょう

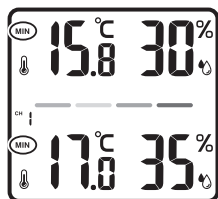
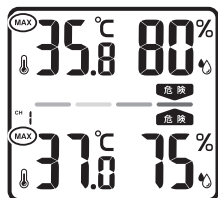
本体の MAX/MIN ボタンで設置場所の最高温度／最低温度が確認できます。

例えば不在の間の温湿度をチェックしたり、夏場や冬場の記録として使用したりできます。



MAX/MINボタン

- MAX/MINボタンを押すと、本体／子機センサー設置場所の最高(MAX)温度とその時の湿度が表示されます。
- MAX/MINボタンをもう一度押すと、本体／子機センサー設置場所の最低(MIN)温度とその時の湿度が表示されます。
- もう一度MAX/MINボタンを押すと、通常の表示に戻ります。



※各項目で何もせず約 12 秒経過すると通常の表示に戻ります。

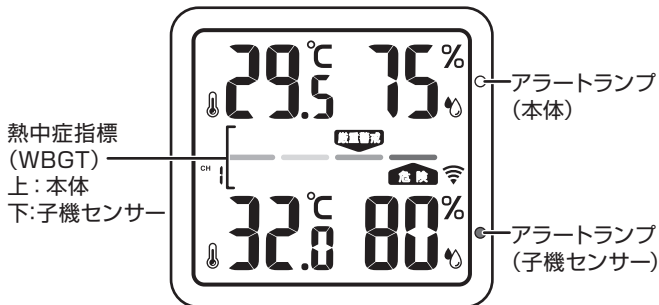
※子機センサーを増設した場合は、子機センサー 2 台の最高温度とその時の湿度が約 3 秒ごとに交互に表示されます。

● 最高温度／最低温度の記録の消去（データリセット）は手動です。
● MAX/MIN ボタンを 3 秒以上長押しすると、記録が消去されます。
● ※本体の電池を取り出すか、本体のリセットボタンを押しても、最高温度／最低温度の記録が消去されます。

熱中症指標表示とアラートランプについて

熱中症指標 (WBGT) について

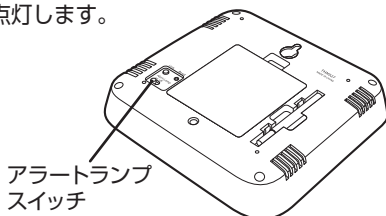
熱中症指標 (WBGT) は、「注意」、「警戒」、「嚴重警戒」、「危険」の4段階で表示されます。気温が低くても、湿度が高いと熱中症指標 (WBGT) が高くなります。(26 ページ)



本体の表示部に「注意」、「警戒」、「嚴重警戒」、「危険」が表示されたときは、「日常生活における熱中症予防指針」(25 ページ) や「熱中症と予防について」(31 ~ 32 ページ) を参考に熱中症を予防してください。

■アラートランプ

本体のアラートランプスイッチを「on」の位置にしておくと、熱中症指標 (WBGT) が「危険」に該当する場合に、アラートランプが赤く点灯します。



※アラートランプの点灯により電池寿命は短くなります。

測定しましょう

熱中症指標表示とアラートランプについて

●日常生活における熱中症予防指針

温度基準 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 (31℃以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒 (28~31℃※)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25~28℃※)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
注意 (25℃未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

※ (28 ~ 31℃) 及び (25 ~ 28℃) については、それぞれ 28℃ 以上 31℃ 未満、25℃ 以上 28℃ 未満を示しています。

出典：日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.3

- WBGT (Wet-Bulb Globe Temperature: 湿球黒球温度 (単位:℃)) は暑さ指数とも呼ばれていて、スポーツや職場での熱中症などを予防するための指標として使用されています。単位は気温と同じ摂氏度 (℃) で示されますが、その値は気温とは異なります。

熱中症指標表示とアラートランプについて

●熱中症指標（WBGT）と気温、相対湿度の関係

相対湿度（％）

	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100
40	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44
39	28	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42	43
38	28	28	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
37	27	28	29	29	30	31	32	33	35	35	35	36	37	38	39	40	41
36	26	27	28	29	29	30	31	32	33	34	34	35	36	37	38	39	39
35	25	26	27	28	29	29	30	31	32	33	33	34	35	36	37	38	38
34	25	25	26	27	28	29	29	30	31	32	33	33	34	35	36	37	37
33	24	25	25	26	27	28	28	29	30	31	32	32	33	34	35	35	36
32	23	24	25	25	26	27	28	28	29	30	31	31	32	33	34	34	35
31	22	23	24	24	25	26	27	27	28	29	30	30	31	32	33	33	34
30	21	22	23	24	24	25	26	27	27	28	29	29	30	31	32	32	33
29	21	21	22	23	24	24	25	26	26	27	28	29	29	30	31	31	32
28	20	21	21	22	23	23	24	25	25	26	27	28	28	29	30	30	31
27	19	20	21	21	22	23	23	24	25	25	26	27	27	28	29	29	30
26	18	19	20	20	21	22	22	23	24	24	25	26	26	27	28	28	29
25	18	18	19	20	20	21	22	22	23	23	24	25	25	26	27	27	28
24	17	18	18	19	19	20	21	21	22	22	23	24	24	25	26	26	27
23	16	17	17	18	19	19	20	20	21	22	22	23	23	24	25	25	26
22	15	16	17	17	18	18	19	19	20	21	21	22	22	23	24	24	25
21	15	15	16	16	17	17	18	19	19	20	20	21	21	22	23	23	24

気温（℃）
（乾球温度）

測定しましゅう

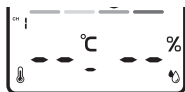
WBGT値	注意 25℃未満	警戒 25～28℃	嚴重警戒 28～31℃	危険 31℃以上
	注意	警戒	嚴重警戒	危険
	注意	警戒	嚴重警戒	危険

出典：日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.3

子機センサーと同期できないときは

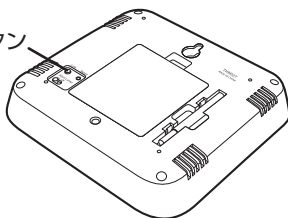
- 本体表示部の子機センサーの測定値が「--°C --%」または「Er°C Er%」と表示された場合

本体と子機センサーを再同期してください。



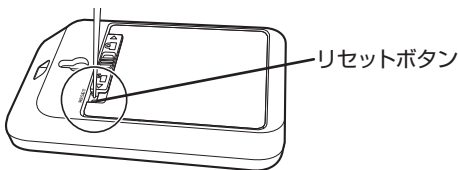
- 1 本体のリンクボタンを3秒以上押す

リンクボタン



本体表示部のチャンネル表示が点滅します。

- 2 5分以内に、子機センサーのリセットボタンを先の細いもので押す



本体と子機センサーの再同期が行われます。

- 送信が開始され、約10秒で再同期が完了し、本体表示部にアンテナマーク (📶) と子機センサーの測定値が表示されます。

※再同期をしても改善されない場合は、子機センサーの設置場所を変更してください。

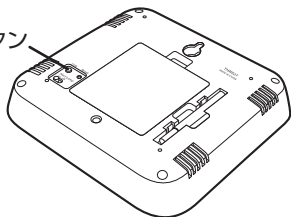
子機センサーと同期できないときは

■子機センサーの表示部に何も表示されていない場合

子機センサーの電池が切れています。子機センサーの電池を新しい電池と交換してください。

1 本体のリンクボタンを3秒以上押す

リンクボタン



本体表示部のチャンネル表示が点滅します。

2 5分以内に、子機センサーの電池を新しい電池と3本同時に交換する

本体と子機センサーの再同期が行われます。

- 送信が開始され、約10秒で再同期が完了し、本体表示部にアンテナマーク (📶) と子機センサーの測定値が表示されます。
- ※子機センサーの電池を交換しても改善されない場合は、設置場所を変更してください。

測定しましょう

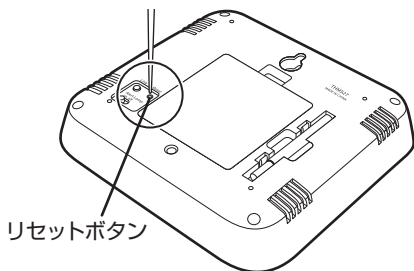
子機センサーと同期できないときは

■こんなときは本体をリセットしましょう

- すでに同期した子機センサーとは別の子機センサーと本体を同期させるとき
- 子機センサーのチャンネルを変更するとき
- 正しく動作しないとき

※本体をリセットすると、本体は子機センサーの情報を受信するモードに入ります。また、最高温度／最低温度の記録は消去されます。

1 本体のリセットボタンを先の細いもので押す



2 「電池を入れましょう」(7ページ)の手順に従って、本体と子機センサーを同期させる

上記でも解決できない場合や、本体や子機センサーに何も表示されない場合は、本体と子機センサーの電池を取り出し、再度「電池を入れましょう」(7ページ)の **1** からの手順で電池を入れ直してみるか、すべて新しい電池と交換してください。

保管とお手入れのしかた

■直射日光が当たる場所、高温多湿の場所、塩分や硫黄分の多い場所、ほこりの多い場所や水のかかる場所には保管しないでください。また、水洗いもしないでください。

故障の原因になります。

※設置場所の目安は「設置しましょう」(19 ページ) をご参照ください。

■長期間使用しない場合は、電池を外してください。

電池からの液漏れにより、故障することがあります。

■熱湯・ベンジン・シンナーなどは使用しないでください。

■本体と子機センサーの汚れがひどいときは中性洗剤をしみこませた布で汚れをよく拭き取り、乾いた布で拭いてください。

■本体と子機センサーのスリットからゴミや洗剤、水などが入らないように注意してください。

■本体と子機センサーを廃棄するときは、お住まいの自治体のルールに基づいて正しく処分してください。

測定
しまし
よう

熱中症と予防について

こんな人は熱中症に要注意!

- ◎ **65歳以上の人、特に75歳以上の高齢者**は、汗をかきにくく、また、のどの渇きも感じにくくなるなど体温調節機能が低下しており、熱中症を発症しやすくなっています。居室の温度が28℃を超えないように、冷房を使いましょう。周りに高齢者がいる場合には、訪問や電話による声かけを、1日2回くらい行いましょう。
- ◎ **乳幼児を含む子ども**は、体温調節機能が未発達で暑さに対する抵抗力が低いため、熱中症になりやすいものです。保護者などが適切な水分補給や涼しい服装に気を配るなどの対応が求められます。
- ◎ **仕事やスポーツに無理をしすぎる人、がんばりすぎる人**は、熱中症の危険が高まります。注意しましょう。
- ◎ **農作業で厚着をしたり、安全対策作業などで安全服で全身をおおう場合**は発症しやすくなります。こまめに休憩をとり、水分補給もしっかり行いましょう。
- ◎ **高血圧、心疾患、慢性肺疾患、肝臓病、腎臓病、内分泌疾患などの持病がある人、寝たきりの人**などは熱中症になりやすいといわれています。また、**以下のような薬を服用している人**は、熱中症を発症しやすくなるので注意が必要です。
 - 抗コリン作用のある薬(鎮痙薬^{*}、頻尿治療薬^{*}、パーキンソン病治療薬^{*}、抗ヒスタミン薬、抗てんかん薬、睡眠薬・抗不安薬、自律神経調整薬、抗うつ薬、β遮断薬、ある種の抗不整脈薬、麻薬)は、発汗抑制をきたす可能性があります。
 - 利尿剤は、脱水を引き起こしやすくなります。
 - 興奮剤・覚せい剤などは、代謝を亢進させます。
 - 多くの抗精神薬^{*}は体温調節機能を抑制する可能性があります。

^{*}医薬品添付文書に、「発汗(あるいは体温調節中枢)が抑制されるため、高環境では体温が上昇するおそれがある」と記載のある薬品
- ◎ **肥満者**は体温が上昇しやすいため、熱中症になりやすいといえます。暑さをさける工夫やこまめな水分補給などを心がけるようにしましょう。
- ◎ **発熱、下痢、二日酔い、睡眠不足など体調不良の場合**も熱中症になりやすいため、十分な配慮を心がけるとよいでしょう。

出典：日本生気象学会「日常生活における熱中症予防」小冊子

熱中症と予防について

しっかり水分補給をして熱中症を防ごう

- ◎ **日常生活ではこまめな水分補給**：普段の生活（大量の汗をかかない）では、食事以外に飲料として1日1.2リットルの摂取が目安とされています。水やお茶などコップ半分程度の量（コップ1杯は200ml）を、こまめ（1時間に1回程度）に飲むようにしましょう。のどが渴いたと感じなくても、水分補給することもポイントです。

また、お風呂に入った後や睡眠中は汗をかきますから、入浴の前後、就寝前には少し多めに、コップ1杯程度の水などを飲むよう心がけてください。

注意が必要なのが高齢者です。高齢者はのどの渇きなどが感じにくくなっていますので、意識的に水分補給をすることが大切です。

- ◎ **仕事やスポーツなどで大量に汗をかくときは要注意**：スポーツをしたり、炎天下で作業などをすると、たくさんの汗をかきます。その際には、からだに必要な塩分も失われますから、水分と一緒に塩分も摂るようにしましょう。

補給する飲料は、塩分に加え、体内への吸収をよくするための少量の糖分を含んだものがより効果的です。スポーツドリンクや経口補水液などが利用できます

<飲む量とタイミングの目安>

作業前：コップ1～2杯程度の水分・塩分

作業中：コップ半分～1杯程度の水分・塩分を20～30分ごとに

作業後：30分以内に水分・塩分

- ◎ **お酒を飲んだ後はしっかり水分補給**：アルコールは利尿作用が強く、飲酒量以上の水分を排泄しています。飲酒後には水分を十分に摂るようにしましょう。
- ◎ **エアコンの効いた部屋にいても要注意**：エアコンなどを使用している室内は空気が乾燥しやすく、気がつかないうちに脱水状態になっていることがあります。室内だからと油断せず、こまめに水分補給をしましょう。

出典：日本生気象学会「日常生活における熱中症予防」小冊子

温度と湿度の管理について

夏

■除湿に心がけましょう

湿度が高くなると、カビ、ダニなどが繁殖しやすくなり、食中毒の原因ともなります。窓を開けて室内の風通しを良くしたり、キッチンの扉などもときどき開けて、換気、除湿に心がけましょう。

■クーラー病に注意しましょう

真夏、エアコンで室内を冷やしすぎると身体の熱を調整する能力が低下し、クーラー病にかかりやすくなります。室内温度と外気温の差は、5℃前後が目安です。真夏は、エアコンで室内を冷やしすぎないように注意しましょう。



なお、近年は外気温が35℃以上になる日もあります。その場合は外気温にかかわらず必要に応じて室内の温度調節をしましょう。

温度と湿度の管理について

冬

■湿度を 50 ～ 60% に保ちましょう

インフルエンザウイルスは、湿度が低くなると繁殖が活発になります。湿度を 50 ～ 60% に保つとインフルエンザウイルスの繁殖を抑制する効果があります。加湿器などで室内を適度な湿度に保ちましょう。

■ヒートショックに注意

ヒートショックとは急激な温度変化によって体がダメージを受けることです。特に冬場にかけて、暖房の効いた部屋からお風呂やトイレに行った際などに多く発生します。

ヒートショックの予防のため、脱衣所やトイレを暖めるなどして、部屋ごとの温度差が少なくなるようにしましょう。冬は脱衣所や洗面所、トイレなどに子機センサーを設置するのも効果的です。

■乾燥に注意






冬は乾燥しやすい季節です。また、エアコンなどにより室内も乾燥しやすくなります。乾燥した状態が続くと、のどや気管支の防御機能が低下し、かぜなどをひきやすくなったり、インフルエンザウイルスなどへの抵抗力も低下してしまいます。加湿器などで室内の湿度を適度に調整するとともに、適度な水分補給に努めましょう。

暖め過ぎ、冷やし過ぎは控えましょう！

適度な温度に保って、省エネにも配慮しましょう。お子様や、お年寄り、男性、女性では体感温度が異なります。状況に応じて、こまめに温度の調節を行ってください。

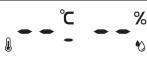

温度・湿度の異常表示について

温度や湿度の値が高い場合や低い場合、表示部に次のように表示されます。

温度、湿度の条件	表示部
温度が -30°C 未満の場合 (湿度は表示されません。)	
温度が -30°C ～ 0°C 未満の場合 (湿度は表示されません。)	
温度が 60°C を超える場合 (湿度は表示されません。)	
湿度が20%未満の場合	
湿度が90%を超える場合	

故障かな？と思ったら

修理、サービスに出される前に、次の点をご確認ください。

こんなとき	確認するところ	直しかた
本体の表示部に何も表示されていない	電池が消耗していませんか？	新しい電池と交換してください(12～13ページ)
	電池の⊕⊖の向きが間違っていないですか？	電池を正しい向きに入れてください(7～10ページ)
アンテナマーク(📶)が表示されていない	子機センサーの電波の受信状態が悪い状態または受信していない状態が1分間以上経過しています	子機センサーと本体の距離を50m以内にしてください(19ページ)
		子機センサーからの電波を遮っているものを除いてください(19ページ)
 が表示される	本体をリセットしてから5分経過しても、本体が子機センサーからの電波を受信していません	本体と子機センサーを再同期してください(27～29ページ) 上記で解決しない場合は、本体と子機センサーの電池を取り出し、電池を入れ直し、再同期してください(7～10ページ)
 が表示される	子機センサーの電波を1時間以上受信していません	子機センサーの電池を新しい電池と交換してください(28ページ)
子機センサーの表示部に何も表示されていない	子機センサーの電池が切れています	子機センサーの電池を新しい電池と交換してください(28ページ)

◆故障を発見した場合はただちに使用を中止し、分解せず、販売店または

シチズン・システムズ株式会社
お客様相談室

にお問い合わせください。

商品に関するご相談、お問い合わせは、弊社 お客様相談室 でお受けいたします。

受付時間：10～17時
月～金(祝祭日、年末年始を除く)

0120-88-6295

通話料金は無料です。

E-mail: support@systems.citizen.co.jp
http://www.citizen-systems.co.jp

お知らせ

製品仕様

販売名	シチズンコードレス温湿度計(マルチチャンネル対応) THM527
本体	
表示	デジタル表示方式
熱中症指標表示	「注意」、「警戒」、「嚴重警戒」、「危険」 の4段階表示
温度測定範囲	-30.0℃~60.0℃*1
温度最小表示	0.1℃
温度測定精度	±1℃ (0.1℃~39.9℃) / ±2℃ (-30.0℃~0.0℃、40.0℃~60.0℃)
湿度測定範囲	20%~90%
湿度最小表示	1%
湿度測定精度	±5% (31%~80%) / ±10% (20%~30%、81%~90%) それぞれ温度20℃~30℃の場合
測定間隔	約1分
電源	DC6V (単3形アルカリ乾電池4本)
電池寿命	約1年 (温度20℃~25℃、湿度40%~60%、子機センサー 1台接続の場合 アラートランプの点灯により電池寿命は短くなります)
寸法	約幅148×高さ140×奥行25mm
質量	約227g (電池含まず)

*1 本体および子機センサーの設置場所の温度が-10.0℃以下または50.0℃以上では表示が見えにくくなる場合があります。

子機センサー	
表 示	デジタル表示方式
温度測定範囲	-30.0℃~60.0℃*1
温度最小表示	0.1℃
温度測定精度	±1℃ (0.1℃~39.9℃) / ±2℃ (-30.0℃~0.0℃、40.0℃~60.0℃)
湿度測定範囲	20%~90%
湿度最小表示	1%
湿度測定精度	±5%(31%~80%)/ ±10%(20%~30%、81%~90%) それぞれ温度20℃~30℃の場合
測定間隔	約1分
設置距離	約50m (遮蔽物のない、見通しのよい空間距離)
構造	防滴構造 (IPX3) *2
電源	DC4.5V (単3形アルカリ乾電池3本)
電池寿命	約1年 (温度20℃~25℃、湿度40%~60%の場合)
寸法	約幅66×高さ120×奥行22mm
質量	約91g (電池含まず)

共通

付属品 単3形アルカリ乾電池7本 (モニター用)、
取扱説明書 (保証書付)

*2 IPX3とは、IEC60529によって規定された水に対する保護を示しており、垂直より左右60°以内からの降雨によって機器内部に有害な影響を受けないように保護されています。

※本製品、及び取り出した古い電池を廃棄する場合は、お住まいの自治体のルールに基づいて正しく処理してください。

※内蔵されている無線設備の分解・修理・改造をしないでください。電波法に抵触するおそれがあります。

※本製品は日本国内においてのみ使用できます。海外で使用すると、その国の電波法に抵触するおそれがあります。

※本製品は改良のため、予告なしに仕様変更する事があります。

保証規定

つぎのような場合には保証期間内でも有料修理になります。

- 誤ったご使用またはお取扱いによる故障または損傷。
 - 保管上の不備によるもの、およびご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷。
 - 火災、地震、水害、異常電圧、指定以外の電源およびその他の天災地変や衝撃などによる故障または損傷。
 - 保証書のご提示がない場合。
 - 保証書のご購入日、ご購入店名などの記載に不備がある場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ご使用後の外装面のキズ、破損、外装部品、付属品、消耗品（電池）などの交換。
- ※お買い上げの販売店または弊社にご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にてご負担願います。
- 保証書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。
 - 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

保証書 持込修理

CITIZEN

このたびは、シチズンコードレス温湿度計（マルチチャンネル対応）をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。取扱説明書にもとづく通常のお取扱いにおいて、万一保証期間内に故障が生じた場合は、本保証書を現品に添えて、お買い上げの販売店または弊社までご持参ください。保証期間内に限り、無料にて修理・調整させていただきます。お客様にご記入いただいた本保証書は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検のために記載内容を利用していただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

販売名 **シチズンコードレス温湿度計(マルチチャンネル対応) THM527**

お客様 お名前	様	TEL	-	-
ご住所 〒				

※以下につきましては、必ず販売店にてご記入、ご捺印をお願いいたします。

ご購入日 年 月 日

ご購入店

保証期間 ご購入日より1年間

シチズン・システムズ株式会社

〒188-8511 東京都西東京市田無町6-1-12

検査証：本製品は弊社の定められた検査に合格しております。

2101

商品に関するご相談、お問い合わせは、
弊社お客様相談室でお受けいたします。

シチズン・システムズ株式会社
お客様相談室

受付時間：10～17時
月～金（祝祭日、年末年始を除く）

0120-88-6295

通話料金は無料です

E-mail: support@systems.citizen.co.jp

http://www.citizen-systems.co.jp

CITIZEN はシチズン時計株式会社の登録商標です。